鉱物油脂対象

# 油分散洗浄剤 BY・FAR Z−M 取扱説明書

バイ・ファー ゼット エム

## 主な用途 ： 鉱物油脂を扱う現場に

○機械器具・部品洗浄　○油タンク・床ワックス洗浄　○流出油分散処理
○脱脂洗浄　○作業着・軍手等の付着油洗浄

## ●ご使用の前に●

**本剤は、鉱物油脂を対象とした希釈タイプの中性洗剤です。**
原液で使用しますと、本剤の特性が生かされませんので、使用場所に合わせて必ず3～100倍に希釈してお使い下さい。また、汚れには多種多様のものがありますので、希釈倍率・洗浄方法等、お試しの上ご使用下さい。

## 一般的な使用方法

| 用途 | 希釈倍率 | 洗浄方法 | 注意事項 |
|---|---|---|---|
| 作業着・軍手等の洗濯 | 100倍 | 洗濯機に水を張り、水量の100分の1の原液を入れ、洗濯する。 | |
| | ※汚れがひどい場合 10～20倍 | 希釈液の中に洗濯物を入れ、一晩浸け置く。または、汚れた部分に原液を塗り、軽くもみ洗いをする。その後、そのまま洗濯機に入れ、洗濯する。 | |
| 場内洗浄 | 3～20倍 | **拭き取りする場合** 希釈液を浸した雑巾を軽く絞り、汚れた部分を拭き、水ですすぎ流すか、ウエス等で拭き取る。 | |
| | | **モップを使用する場合** モップに希釈液を染みこませ、汚れた部分を拭き、水ですすぎ流すか、ウエス等で拭き取る。 | |
| | | **ブラッシングの場合** 汚れた部分に希釈液を散布し、暫く放置する。その後、ブラシで擦り洗いし、水ですすぎ流すか、ウエス等で拭き取る。 | |
| | | **高圧洗浄の場合** 希釈液を洗浄機にセットし、汚れた部分をなぞるように洗浄する。特に汚れのひどい箇所は、ブラッシングし洗浄する。その後、ブラシで擦り洗いし、水ですすぎ流すか、ウエス等で拭き取る。 | 高圧洗浄の場合は、機種により圧力が異なりますので、希釈倍率を加減して下さい。 |
| 部品・製品の洗浄 | 5～20倍 | **擦り洗いの場合** 希釈液を浸した雑巾を軽く絞り、汚れた部分を拭き、水ですすぎ流すか、ウエス等で拭き取る。 | |
| | 10～50倍 | **浸け置き洗浄の場合** 希釈液の中に洗浄物を浸し、暫く放置する。浸け置き後に擦り洗いやブラッシング洗浄し、十分にすすぎ流してから、乾燥させる。 | Z−Mは油分の除去に優れていることから、錆び易いので速やかに乾燥させ防錆処理を施して下さい。 |
| | 5～30倍 | **超音波洗浄の場合** 希釈液の中に洗浄物を入れ、超音波洗浄する。超音波は発生する場所が決まっているので、ワークを移動させ、ムラなく当てるようにする。洗浄後、十分にすすぎ流す。 ※錆びやすい物は、速やかに乾燥させ防錆処理を施す。 | 周波数によって洗浄時間が異なりますので、洗浄物の材質・形状に応じて洗浄時間を決定して下さい。 |
| 什器・機器の洗浄 | 10～20倍 | **拭き取りする場合** 希釈液を浸した雑巾を軽く絞り、汚れた部分を拭き、水ですすぎ流すか、ウエス等で拭き取る。 | |
| | 30～50倍 | **高圧洗浄の場合** 希釈液を洗浄機にセットし、汚れた部分をなぞるように洗浄する。特に汚れのひどい箇所は、ブラッシングし洗浄する。その後、ブラシで擦り洗いし、水ですすぎ流すか、ウエス等で拭き取る。 | 高圧洗浄の場合は、機種により圧力が異なりますので、希釈倍率を加減して下さい。 |

**※これはあくまで目安のですので、ご使用時は汚れの度合いに応じて、調節して下さい。**

## 流出油対策

| 用途 | 希釈倍率 | 洗浄方法 | 注意事項 |
|---|---|---|---|
| コンクリート 及び アスファルト塗装面での流出事故 | 20～30倍 | **ブラッシングの場合** 油吸着マットで、出来る限り油を回収する。希釈液を散布し、デッキブラシ等で、汚れた部分を擦り洗う。その後、多量の水ですすぎ流す。 | 希釈液の分量は、流出油に対して半分の量を目安にして下さい。 |
| | 30～50倍 | **高圧洗浄の場合** 油吸着マットで、出来る限り油を回収する。希釈液を洗浄機にセットし、汚れた部分をなぞるように洗浄する。デッキブラシ等で汚れた部分を擦り洗い、多量の水ですすぎ流す。 | 高圧洗浄の場合は、機種により圧力が異なりますので、希釈倍率を加減して下さい。 |
| 土壌への流出 | 20～30倍 | 流出場所に希釈液を広範囲に散布する。使用量の目安は、油：希釈液＝1：3～5とする。土壌を掘り返し、希釈液と土をよく混ぜ合わせる。使用した希釈液量の倍以上の水を散布する。この散布量は多ければ多いほど良い。 | 事故当日は、これを1～2時間毎に2～3度行い、以後1日1回、2～3日続けて下さい。 |

| 油流出事故での希釈液の作成目安 ※あくまでも目安ですので、汚れの度合いに応じて加減して下さい。 | | |
|---|---|---|
| | 手洗い・ブラッシング場合 | 漏油量1に対して原液1を目安に希釈して下さい。 |
| | 高圧洗浄の場合 | 漏油量1に対して原液0.5を目安に希釈して下さい。 |

| 化学薬品等の漏出事故について | 本剤は、高粘度物質である油脂類（鉱物油脂）を対象とした水系の洗剤ですので、化学薬品等への使用は、水との反応が無ければ洗剤を使用するまでもありませんが、マグネシウムや苛性ソーダ等、水と激しく反応を示すものについては使用できません。 |
|---|---|

### ▼流出油事故対策例

**事故状況**

**大型トラック 10トン車転倒による油流出事故**

○エンジンオイル　20L
○燃料（軽油）　100L
↓
漏油量合計 120L

**対 策**

**高圧洗浄機で洗浄**

①漏油量1に対して、Z−Mの原液0.5が目安ですので、Z−M 60Lを準備します。
②60LのZ−Mに対して、1800Lの水で希釈します。
③漏油部分を高圧洗浄します。
排水性舗装の場合は、ノズルをゆっくり移動して、舗装内部まで洗うような感じで洗浄して下さい。
④希釈水量と同量の水ですすぐか、散水車で走行散水して完了です。

事故現場では、多くの人々や車が往来しますので、靴底やタイヤに付着したエンジンオイルや燃料による汚染が拡大されます。二次汚染の拡大を食い止め、道路の封鎖時間を出来るだけ短くするためにも、高圧洗浄機と散水車を利用した洗浄方法をお勧めします。
高圧洗浄機を使用しますと、タイヤや靴底に付着した油や側溝・ガードレール等広範囲に飛び散った油の洗浄には、素早い処理ができます。
また、10kgf/cm2以上の圧力があれば、油分子の微細化が促進され、高い効果が得られます。

## ⚠ 安全に関するご注意

●乳児の手の届く所には置かないで下さい。●用途以外には使用しないで下さい。●長時間使用する時、または、荒れ性の方や敏感性の方が使用する場合は、使用後流水で水洗いの上、ハンドクリーム等でのお手入れをお勧めします。●本剤は、酸・アルカリに安定ですが、ポリスチロール・アセテート容器等は避けて下さい。また、アルミニウム類は洗浄後必ず水洗いして下さい。●希釈した液を長時間置きますと変質する恐れがありますので、必要量の希釈液を作ってご使用下さい。

## 応急処置

●目に入った場合は、清浄な流水で5分以上洗浄し、医師の診察を受けて下さい。●皮膚に付着した場合は、水または温水で洗い流して下さい。また、皮膚に異常が出た場合は、医師の診察を受けて下さい。●誤って飲み込んだ場合は、水を多量に飲ませ、吐かせてから医師の診察を受けて下さい。

## 保存期間

●本剤は、自然での生分解がし易い素材を使用しておりますので、保存場所の環境によっては、洗剤中の水そのものが腐敗したり、藻類が発生することがあります。
**直射日光を避け、冷暗所で保存し、1年以内に使い切って下さい。**

## 保管上の注意

●直射日光を避け、密栓し冷暗所に保管して下さい。●氷点下で凍結しますので、冬は凍結しない場所に保管して下さい。凍結した場合は、解凍すれば再度使用できます。

### ▼洗浄に注意する材質

| 材質 | 注意事項 |
|---|---|
| アルミニウム | Z−Mに長時間浸け置きしますと、若干の重量変化が生じますので、速やかに水洗いして下さい。10～15倍希釈で使用し、洗浄後十分にすすぎをすれば問題ありません。 |
| 真鍮 | 10時間以上浸け置くと表面を変化させますので、短時間で洗浄し、速やかにすすぎを行い、十分に乾燥させて下さい。10～15倍希釈で使用して下さい。 |
| 鉄 | 本剤は脱脂効果が高いので、洗浄後の乾燥及び防錆処理を迅速に行って下さい。 |
| 塗装面 | 水系塗料には使用しないで下さい。 |

製造元
グローブ イーピー株式会社
〒963-0215 福島県郡山市待池台1-55-58
TEL:024-983-3748 FAX:024-959-5051
http://www.globe-ep.co.jp